

さいとう元彦の約束

ひょうご前に進めよう！

5つのビジョン+プラスワン

令和3年6月10日

# はじめに

「県民の皆様と直接お話ししたい」  
それが、私の今回の政治活動の思いでした。

これまで、県内各地を駆け巡り、500カ所以上で、  
県民の皆様と直接対話を重ねてきました。  
そして、4月1日からは平日ほぼ毎日、県内の駅で街頭活動を行い、  
県民の皆さんに直接お会いしてきました。

「授業もなくバイトも減って孤立している」  
「発達障害のこどもの保育園入園を断られた」  
「市街化調整区域をもっと柔軟にし、地域を活性化させたい」  
そういった、県民お一人お一人の声を伺ってきました。  
今回の政策集は、そんなお声をできるだけ反映させていただいたものです。

政治は誰のためのものなのか。  
すべて、県民の皆様のためのものだと、私は考えています。  
兵庫を躍動させる、県民ボトムアップ型の県政がはじまります。

# 5つのビジョン + プラスワン

## Vision1

コロナ禍『ひょうご4つのゼロ』の実現！  
人生100年時代の健やかライフをさらに進めます。

## Vision2

明るく、楽しく、幸せな子育て！  
未来を創る人づくりをさらに進めます。

## Vision3

県内GDP成長率 全国トップクラスの実現！  
新時代の産業、農林水産、観光の活性化をさらに進めます。

## Vision4

住んでよかった満足度 全国トップクラスの実現！  
みんなが誇れる郷土づくりをさらに進めます。

## Vision5

防災先進県・兵庫であり続ける！  
災害に強い県土づくりをさらに進めます。



## Plus1

県民とのコミュニケーション力、情報発信力 全国トップクラスの実現！  
行財政改革を県民とともに進めます。

# コロナ禍『ひょうご4つのゼロ』の実現！ 人生100年時代の健やかライフをさらに進めます。(1)

< コロナ禍の克服へ。4つのゼロをめざす「ひょうご4つのゼロ作戦」を展開 >

## 1 ワクチン接種待機ゼロ

- すべての医療機関で接種を可能に
- 県独自の大規模接種の運用を拡大
- 福祉施設職員や保育士などエッセンシャルワーカーへの優先接種を実施

## 2 コロナ倒産・失業・生活困窮者ゼロ

- 県制度融資の枠を拡大、返済猶予期間・返済期限の延長検討
- コロナ収束前の一步早い対策としてインターネット市場等の出展料を支援
- アクリル板設置など感染対策を徹底している飲食店を認証し、  
認証店には時短要請の緩和等をおこなう「ひょうご安心認証(仮称)」を導入

- 若い世代のワクチン接種をもっと速やかにやって欲しい(洲本市など県内各地)
- 制度融資の据置期間後にすぐに返済できるかどうか不安(神戸市・明石市)
- コロナが収束する前からの経済活性化、需要喚起対策を実施して欲しい(新温泉町)

# コロナ禍『ひょうご4つのゼロ』の実現！ 人生100年時代の健やかライフをさらに進めます。(2)

## 3 学生の孤立ゼロ

- 進学・就職や生活に悩む**学生のワンストップ相談窓口**を早急に構築
- 家計が急変した学生に対し、**返済不要の県独自奨学金(県内就職要件)**を創設
- 民間人材派遣会社とも連携し、**コロナ就職氷河期ゼロ対策**を強力に推進

## 4 高齢者の孤立ゼロ

- 感染対策の徹底など、**コミュニティ活動等に参加しやすい環境整備**を推進
- 配食サービスなど**民間サービスとも連携した新たな見守り支援**を導入
- **特殊詐欺被害対策**として、使いやすい**自動録音電話機の普及大作戦**を展開

- 下宿生は親などから帰省しないと言われて、孤立化している(西宮市)
- 高齢者のお宅に訪問するとたちまち表情が豊かになる。もっと見守りが必要(神戸市・たつの市)
- 不審な電話が多い。これまで行政から配付された録音機は音がうるさくて使いづらい(明石市)

# コロナ禍『ひょうご4つのゼロ』の実現！ 人生100年時代の健やかライフをさらに進めます。(3)

- 現場の実状を踏まえ、医療機関と連携して「**コロナ病床確保計画**」を策定
- 「はりま姫路総合医療センター(仮称)」における  
**医療従事者の教育・育成の拠点性を向上**
- **介護基盤を強化**。24時間対応の在宅介護サービスを大幅に拡大。  
特別養護老人ホームの入所待機者を解消
- 健康長寿に不可欠な歯の健康維持に向け「**オーラルケア条例(仮称)**」を制定

- コロナに感染しても自宅待機を強いられそうで不安。病床確保にもっと力を入れて欲しい(県内各地)
- コロナなど様々な感染症対策の医療スタッフの育成拠点が必要ではないか(姫路市・太子町)
- 高齢者が増加していく中で、介護体制の整備が間に合うのか不安(赤穂市など県内各地)

明るく、楽しく、幸せな子育て！  
未来を創る人づくりをさらに進めます。

- **不妊治療の支援**を強化。**不妊治療休暇**の普及や**男性不妊**への理解を促進
- 保育所や放課後児童クラブの**待機児童**を**早期に解消**
- **発達障害児**の保育所等への受入れを支援する**県独自助成**を創設
- **ICTを活用した教育**を充実。オンラインでの**国内外の学校との交流**を拡大
- 県立高校の**トイレの洋式化・乾床化**や**体育館の冷房設備設置**を強力に推進
- 学生の課題を県政に反映するため、学生で構成する「**学生未来会議(仮称)**」を創設

- 子どもが発達障害を持つが、保育所入園が大変だった(西脇市・姫路市)
- 高校校舎の修繕をPTA寄付金で対応している。冷房設備を増やさないと体調を崩している(加西市)
- アルバイト収入の減など学生の困っていることを県に伝えられる場をつくって欲しい(神戸市)

# 県内GDP成長率 全国トップクラスの実現！ 新時代の産業、農林水産、観光の活性化をさらに進めます。

- **中小企業**の技術開発や販路開拓、デジタル化やグリーン化投資等の**支援充実**
- 起業を志す若者(小学生～20歳代)を対象に「**スタートアップアカデミー(仮称)**」を開設
- 2025年万博に訪れる世界の人々を、県内各地の農業や地場産業の現場に誘う「**兵庫フィールドパビリオン(仮称)**」を実施。**兵庫から関西の活力を創出**
- 障害者が日本一旅行しやすい県をめざし「**福祉の観光県条例(仮称)**」を制定
- **学校給食での「県産食材倍増作戦」**など、県農林水産物の需要拡大を強力に推進

- 兵庫県内で、もっとスタートアップに挑戦する若者たちを増やしてほしい(神戸市)
- 障害者が日本一旅行しやすい県は、障害者や外国人など多様な人々が日本一住みやすい県である(明石市)
- 農水産物の需要先を確保しない限り、担い手も増えない(県内各地)

## Vision 4

住んでよかった満足度 全国トップクラスの実現！  
みんなが誇れる郷土づくりをさらに進めます。

- 大規模集客や企業誘致をめざす「**播磨灘・大阪湾バ**エリア再生プラン(仮称)」を策定
- 「**県内どこでもWi-Fi・5G**」や、市街化調整区域等の**土地の用途変更を円滑に進める組織体制の強化**など、**人口対策**を強化
- 県内各地にそれぞれの特性を踏まえた「**スマートシティモデル地区**」を整備  
(自動運転バスの運行、ビッグデータによる健康づくり、エネルギーの地産地消システム など)
- 県立芸術関連施設を無料開放する「**県民プレミアム芸術デ**ー(仮称)」を創設

- 播磨灘や大阪湾ベイエリアの開発促進は今後の兵庫の発展に欠かせない(神戸市・姫路市)
- 人口減少が深刻な多自然地域こそ県の役割が重要。地域創生にもっと力を入れて欲しい(豊岡市・上郡町)
- 芸術文化をもっと気軽に楽しめる環境をつくって欲しい(県内各地)

## 防災先進県・兵庫であり続ける！ 災害に強い県土づくりをさらに進めます。

- 地震・津波や風水害に備えた**インフラ整備**を加速。河川の浚渫は集中的に実施
- 支援が必要な**高齢者や障害者一人ひとり**に応じた**避難計画**を早期に策定
- 女性・高齢者・障害者・外国人など、だれもが大きなストレスなく過ごせる**避難所整備**を推進。避難所での**ペットの受入れ態勢**も整備
- 住民が交通危険箇所等を知らせる「**交通安全LINE110番(仮称)**」を開設
- **道路の歩車分離**など、子どもや高齢者にやさしい道路整備を強化

- 豪雨に備え、県管理河川の堆積土砂などの浚渫を早期に行って欲しい(三木市・姫路市)
- 災害で避難する際に、ペットを置いて行くのは辛い。ペットは家族同然(高砂市)
- 下り坂でスピードを出す車がいる。安全な通学路を確保して欲しい(明石市・加西市)

# 県民とのコミュニケーション力、情報発信力 全国トップクラスの実現！ 行財政改革を県民とともに進めます。

- 自らの給与・退職金を削減した上で、**県民目線**の行財政改革を断行
- 新しい働き方を踏まえ**県庁再整備構想**を見直し。周辺エリアの活性化へ
- 幹部に**女性を積極登用**。複業人材を含め民間人材もさらに活用
- 企業・団体・大学等と県を結ぶ「**ひょうご公民連携プラットフォーム(仮称)**」を開設
- 知事が県内各地に数日間滞在して仕事をする「**ワーケーション知事室**」を実施
- 知事自らが**積極的に情報発信**。**トップセールス**もエネルギーに展開

- しがらみのない立場で県の改革を進めて欲しい(県内各地)
- 県民にとって、知事はどこか遠い存在。もっと自分たちの地域を見に来てほしい(県内各地)
- 大阪に比べて情報発信力が弱い。もっと積極的な情報発信を(県内各地)